



新羽小だより

令和4年(2022年) 7月20日

第579号

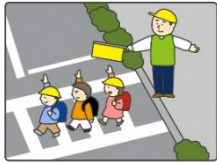
横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

登下校の安全を守る

校長 佐藤 恵子



7月8日金曜日、本校第二音楽室において、2年ぶりに「新羽小学校スクールゾーン対策協議会」が開催されました。スクールゾーン対策協議会は、保護者・地域・学校・行政機関・関係交通機関が連携して、通学上の安全対策について連絡調整を図り、交通事故の未然防止やさらに安全な通学環境づくりに寄与することを目的としています。企画運営に携わっていただいた校外指導委員さん、PTA 役員さん、そしてご多用の中出席していただいた地域・関係機関の皆様は心より感謝申し上げます。

4月から校外指導委員さんは通学路の状況について情報収集し、すでに補修改善作業が済んでいるところや今年度新たに警察や区役所への改善要望したい内容などを整理し、写真や地図を使ってとてもわかりやすい資料を作ってくださいました。当日は、資料をもとに、毎日登下校を見守っていただいている学援隊の方、PTA の皆さん、町内会代表の皆さん、警察の方、区役所の方、バス会社の方からさまざまな発言がありました。「小学校入口交差点の信号を歩車分離式にできないか。」「電柱が歩道の幅を狭くしていて信号待ちの車列ができていたときの歩行はたいへん危険。」「バス停が横断歩道の脇にあるので、バス利用者と信号待ちの子ども達で混雑し、歩道からはみ出すことがある。バスの停車位置は移動できないか。」「車両進入禁止にも関わらず、標識を見ないで進入する車がある。警察に見回りをお願いしたい。」「横断歩道の線や止まれ文字が消えかかっている箇所があるので、補修をお願いしたい。」など、子ども達の安全を守るためにできることはないか、それぞれの立場でしっかり考えていただいた内容でした。そして、一つひとつの意見や要望に、関係機関の方が丁寧に回答してくださいました。協議会全体に、新羽の子ども達を自分たちで守りたいという思いを感じ取ることができ、学校としてとてもありがたく心強く思いました。

情報交換の中で、「広がって歩かない、坂道を駆け下りないなど、子ども達自身の交通マナーの改善も大切。」と発言してくださいました。子ども達が普段の自分自身の登下校を振り返り改善すべきことはないか考え実行することも忘れてはならない視点だと思いました。学校では、命を守る学習として、普段の自分の登下校の様子を振り返ったり、安全な登下校について考えたりする学習の機会を設けていきます。ご家庭でも、登下校の様子を話題にいただき、お子様の安全意識の向上に向けて後押ししていただければと思います。



最後に警察の方から、「大人が交通ルールを守り、子ども達のお手本になりましょう。大人が言葉で言うことより行動で示すことを子どもは学んでいきます。」と、身の引き締まるようなお話をいただきました。

明日から長い夏休みに入ります。健康管理と同じように、交通安全に気を付け、毎日健やかに楽しい夏をお過ごしください。